



津波の第一波

日本海中部地震による津波の第一波。(本館地区から撮影)

撮影者: 井川定雄氏

津波から身を守る

八峰町のみなさん、津波への備えはいかがでしょうか？広報のジオパーク特集の第4回目に工藤会長が日本海中部地震の事を書いていたのを記憶でしょうか？ご存知の通り、日本海中部地震では八峰町を高い津波が襲い、残念ながら15名の犠牲者が出ています。このような自然災害を語り伝え、被害を減らす事もジオパークの重要な使命です。

2011年11月に秋田大学でとらせていただいたアンケートによると、回答者の81・5%の方が津波発生時の避難場所を決めているという結果になりました。八峰町の皆さんの津波への備えはかなり良いと私は思います。

最近、秋田県から「地震被害想定調査」に係る津波関連データが提供されました。秋田県のホームページでも見ることができ、ぜひご覧ください。私もこの委員会の一員ですので、このデータについて説明したいと思います。この中に「A+B+C連動」という、なんだか難しげで恐ろしい想定があります。これは東日本大震災前の想定のような甘い想定ではなく、本当に最大限考えられる想定とお考えください。このような大きな地震とそれに伴う津波は滅多に起きるものではありません。したがって、「A+B+C連動」で津波が来ない所は安全性の高い場所とお考えください。よいでしょう。「A+B+C連動」で津波が来る場所は、津波の大きさによって津波がやってきたり来なかったりする場所です。地震があった場合、すばやく高い所に逃げる必要があります。では、津波からはどのように逃げたら良いのでしょうか？

うか？ここで気になるデータがあります。「大きな地震のゆれを感じたあとにどのような行動をとるか？」という設問に対し、「安全なところへすぐ逃げる」と答えた方が、36・7%、「テレビなどを見て情報に注意する」と答えた方が34・6%、「逃げるための準備をする」と答えた方が23・9%という結果でした。実は津波が発生した場合、八峰町には15分から20分で津波がやってくるというシミュレーション結果になっています。やはり、「安全なところへすぐ逃げる」必要があります。時間があまりない可能性が高いので、準備をしたり、情報を収集したりする時間はありません。

大きなゆれを感じたら、とりあえず高い所に逃げる事が大切です。そうすれば方が一の時にも東日本大震災のような大きな被害は出さずにすむでしょう。また、普段からどのような経路で逃げるのか考えておく事も大事です。

みなさん、大きな揺れを感じた時には「1秒でも早く1センチでも高い所に逃げる」ことをしっかりと守っていただきたいと思っています。

なお、地震のゆれによる被害やライフラインへの影響は来年公表されることと思います。

秋田大学教育文化学部教授 林信太郎

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427